

高山飛騨なみ町

3号



観光都市「高山市」の なりたち

高山は、険しい山や深い谷に隔てられた土地でありながら、古くは縄文時代より、信州、美濃、越前、越中と四方からの文化が押し寄せ発展してきました。

天正13年（一五八五）に金森長近が豊臣秀吉の命により飛騨を平定し、天神山（現在の城山）に城を築きました。城を取り囲む高台を武家地、一段低いところを町人地、宮川を西の防衛線とし、東の守りのため東山地区に寺社地を配し、ハジゴのように区画された城下町づくりを行いました。こうして現在の高山市の基礎が出来上がったのです。

しかし近代的发展からは、それに不可欠な交通網という点において、取り残された陸の孤島でした。昭和9年に念願の鉄道（高山線）岐阜―富山間が全線開通しアクセスが改善されましたが、発展の期待も東の間、昭和12年、日中戦争・太平洋戦争突入によって叶わなくなりました。昭和20年8月2日

には、高山に爆撃予告のビラがまかれます。しかしその約2週間後の15日、終戦を迎えることとなります。

戦後の開発は、高山駅の設置に伴い宮川の西側を中心に拡大していきます。

このように旧来の市街地であった東側は、戦争の爆撃と近代化の開発から奇跡的に免れたというわけです。

戦後の混乱が収まると、昭和20年代後半から30年代にかけて全国的な登山ブームが起きました。それまで、北アルプス登山で賑わうのは信州・上高地側だけでしたが、高山線開通によって飛騨側からの登山が注目され始めます。すると、高山駅を利用する帰りの登山客が列車を待つ時間潰しに高山の町を散策し、予期せず豊かな自然・昔の町並みに気づきます。それは語り継がれ、また、著名人や文化人がメディアで紹介したことによって、それを目当てに高山を訪れる人が次第に増えていったのです。昭和45年には国鉄が、高度経済成長による豊かな物質文明と引き換えに失われつつあ

る古き良き日本を求めると、**ディスカバージャパン**という全国キャンペーンを行います。



「暮らしの飛騨」で紹介された生活雑誌「暮らしの手帖」の高山版（S38. 12号）

また、女性ファッション雑誌「アンアン」「ノンノ」の創刊により、**落ち着いた町並み・静かな宿場**などが若い女性を中心に観光地として注目され始めます。飛騨高山もそれらのブームに乗り、昭和45年には年間60万人程であった観光客数は、わずか数年で200万人に手が届くまで飛躍的に増え、今や屈指の観光地です。（現在は約400万人）

しかし高山市とて高度経済成長期（昭和30年頃）から昭和47年頃）の開発ブームの中、観光都市として発展する反面、現在は市街地の中心で清流をたたえる宮川も、当時は洗濯水などの家庭排水が流れ込むドブ川状態でしたし、開発行為の影響による歴史的・文化的資産の破壊が問題視されるようになっています。こうした中、昭和47年に制定されたのが**高山市市街地景観保存条例**であり、これが高山市としての町並み保存の始

まりです。もつとも、昭和26年の「高山屋台保存会」発足・昭和37年の子供会活動「宮川に清流を」開始・昭和41年の「上三之町町並保存会」結成…と、地域住民の自発的保存活動は以前から行われていました。

これらの活動は、およそ高山祭りの**屋台組**（やたいぐみ）が基礎になっている点に興味深い点です。屋台組とは、屋台（山車）を維持管理する組織のことですが、それが**自主防災**の組織や、**町並保存会**や**景観保存会**でもあることが多いのです。

「地域」や「行事」の伝統的な組織が密接に係合し、行政と連携して支えているのが、**高山市の町並保存・景観保存活動の特徴**です。

景観・住民・企業

昨年、高山市の景観に関する注目すべき出来事がありました。

伝統的建造物群保存地区（伝建地区）内にあるNTT西日本高山第二ビル屋上の鉄塔撤去です。

そもそも、法的には、この鉄塔撤去の義務はありません。NTT西日本が住民の希望を受け入れて、撤去に踏み切ったのです。

ご存知ない若い方もいらっ

お寄せいただきました。ご意見などは、編集して本誌等でご紹介させていただきます。

皆様からの「地域や町並み」に関する身近なニュースや、ご意見、ご要望など、各保存会 会長様 までお寄せください

しやると思いますが、N T Tの鉄塔にはかつて、レンジのようなアンテナが4つ付いていました。

平成10年に中心業務であった固定電話の電波受信の役割を終えた後、携帯電話の受信用として、また防災無線用として使用されました。その後アンテナ部分だけが取り外され、近年見慣れた姿になったというわけです。

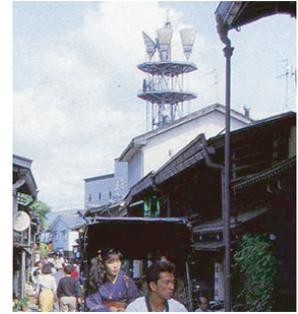
N T Tのパラボラアンテナが建設されたのは昭和49年。古い町並みが国に「伝建地区」選定を受けた昭和54年より前のことです。

選定後、住民と市は撤去もしくは移転を要請してきました。そして昨年、市が撤去費用の半額を負担することで撤去の合意にいたしました。

このニュースは新聞やインターネットで取り上げられました。「疎まれ続けた鉄塔がようやく撤去される」と報じられる中、中日新聞飛騨版では「建設された当時は、住民にとっても地域に必要なものという認識の方が強かった」という市景観町並保存連合会長の川上氏のコメントを載せています。

まさに、衣食足りて礼節を知る。開発重視だった時代が景観重視の時代に移り変わることによって起きた、象徴の

ような出来事だと言えるでしょう。



アンテナ期
郷土出版「高山100景いまむかし」



鉄塔残留期



撤去工事中



撤去工事後

掲載にあたっては、個人が特定されることのないようにいたしますとともに、取り扱いには、十分注意いたします

それは、生活環境が満たされ、周りを眺めるゆとりが出来るようになったからこそ「気づき」です。そこに暮らす人がいるのですから、必要に応じて変化が起きて当然なのです。過去を闇雲に否定しない姿勢も、町並み保存には必要なのです。

そのような点では、昨年保存会が視察旅行で訪ねた「富岡製糸場」や「足利学校」は、性質が異なると言えるでしょう。

■ 高山市景観町並保存連合会 視察研修 ■

平成25年度 視察研修
日程 / 11月7日・8日

富岡製糸場

視察地① 富岡製糸場 (群馬県富岡市)

江戸時代200年以上にわたって続いた鎖国をやめた欧米諸国との国交を再開した19世紀半ば、国力の差を目的の当りにした明治政府は生糸の輸出を強化し列強に追い付こうとします。急増した輸出に対しそれまでの前近代的な生産法を見直し、明治政府はフランスの工場を丸ごと(器械・技術・指導者)輸入しました。こうして開設したのが、最新器械を備えた官営

模範工場(政府経営モデル工場)富岡製糸場です。操業を停止する昭和62年までの約115年間主要建築物の多くがそのまま使われてきた文化遺産として、また、日本の技術の革新・交流を軸とした近代の経済・産業を牽引した産業遺産として、世界遺産登録をめざす取り組みが進められています。

視察地② 桐生市桐生新町 (群馬県桐生市)

織物産業を中心に発展した桐生市には、江戸末期から昭和初期に至る、蔵造りや町家、大谷石造りのノコギリ屋根工場など、様々な年代の歴史的建造物が数多く残っています。

桐生新町



土蔵を再利用したギャラリーで現地職員さんの話を伺う保存会員



一昨年、桐生市桐生新町は重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)に選定されました。

足利学校

視察地③ 足利学校 (栃木県足利市)

足利学校は、最盛期の室町時代には全国から3千人の学生を集めたといわれる、日本最古の総合大学です。儒学教育を中心とし、戦乱の世になると易学や兵学といった実践的な教育も行なわれました。やがて戦の無い平和な江戸時代になると、次第に衰え、明治5年に廃校になりました。

その直後から有志による保存運動が展開され、郷土のシンボルとして10年の歳月を要し平成2年、江戸中期の落雷により消失してしまった姿が復元され、一般開放されています。足利市では、足利学校跡・寺・樺崎寺跡の3つの国史跡の世界遺産登録をめざす取り組みが進められています。

次号は3月発行予定

各部会の活動報告・ミニ知識コーナー・保存会の紹介：など

同じ「重伝建地区」である桐生新町は、保存会員達も特に興味深く見てまわったようで、高山のとの違いや、取り入れて活かせる点などが、事後アンケートで挙げられました。

▶ 視察後のアンケート

①土蔵をギャラリーとして、のこぎり屋根の工場をアーティストのアトリエとして再利用するなど、保存・修理に限らず、「活用」に力を入れていらっしゃるようだ。

②様々なイベントを催して、地域を盛り上げようという意欲が感じられた。

③地元の特産品を扱う店舗が増えているとのこと。商店街活性化の取り組みが窺えた。

④重厚な町家からは、当時の繁栄ぶりが感じられた。

⑤「重伝建地区」に選定されてまだ間もないせいや、古い建造物と「新しいモノ」とが混在していた。「スポッポットの保存」という印象を持った。

▶ 保存への取り組み

日本の市町村が条例などにより決定した伝統的建造物群保存地区のうち、文化財保護法の規定に基づき、特に価値が高いものとして国が選定するのが**重要伝統的**

建造物群保存地区（重伝建地区）です。

地区内では、伝統的建造物の計画的な修理だけではなく、伝統的建造物以外の建造物の新築・増改築についても、建造物の所有者・設計者・施工者・行政担当者が事前に話し合う、周囲の伝統的建造物と調和するような工事「修景（しゅうけい）」が求められます。

先のアンケートの⑤にみられるような印象は、高山の重伝建地区に、連続した町並みの質の高さを感じているからこそでしょう。

建造物（点）が通りに並んで建ち（線）、それが幾筋もある（面）魅力が高山の重伝建地区にはあるのです。また、それを求めて、高山を訪れて下さる大勢の人がいらつしやるのです。

NTTの鉄塔撤去と時ほぼ同じくして撤去された**十六銀行高山支店の屋上看板**。こちらも、重伝建地区に選定される前に作成されました。10年ほど前に景観町並保存連合会が撤去を要望し、約束された店舗改装時より時期を早めて撤去が行われました。

この看板が立っていたのは、重伝建地区ではありません。しかし、重伝建地区内から北の空を眺めた時、その視界の



撤去後



撤去前

中に看板があったのです。点・線・面という図的な魅力にとどまらず、3D的な魅力が**景観**には求められます。さらに、電線・河川・橋・街路樹と、一体をなして地区の風致を形成する重要な要素が他にも数多くあります。

他の都市が既に失ってしまった**有形・無形の文化財**を高山市が**持ち続ける**には、**市民の大きな理解と協力**が必要である。

高山の歴史を正しく知るために、欠くことのできない**文化財を、過去・現在・そして未来の子孫へと伝え遺されていくことを切望する。**

高山市のホームページ内で、歴史を紹介する結びのメッセージが記されています。

お知らせ

美しいふるさと認証制度

ふるさとの有形無形の伝統文化や文化財の保存活用、又は美しい景観の保全などを目的とした団体や個人の活動を認証する制度です。

高山の長い歴史の中で生まれ育まれてきた伝統文化や美しい風景などは、市民にとって精神的な豊かさや誇りを持つことができる貴重な財産です。これらは幾多の時代の変遷にあっても、その時々の人々が志と情熱を持って守り受け継いできたものです。これからも、その先人の思いをより多くの市民と共有した上でその価値を理解し、次世代に継承していくための保全や活用などの活動を大切にする必要があります。

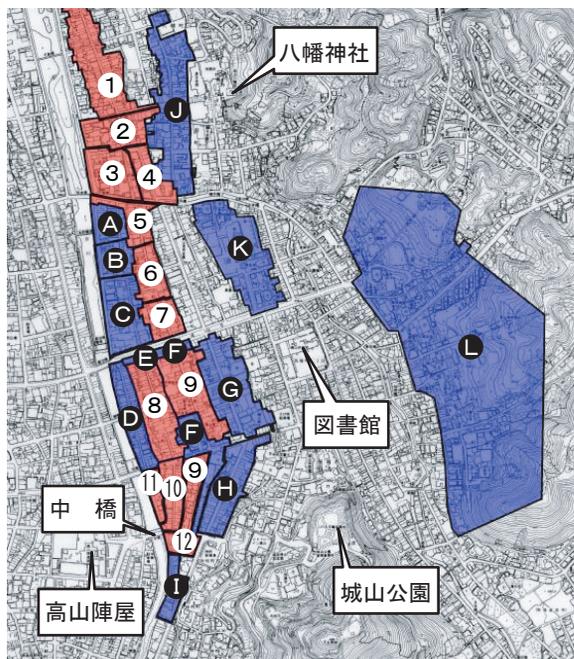
こうした財産を守り、継承していく団体を認証し、広く市民の方々に活動を知っていただくことで、今後の活動の活力にさせていただこう、それが美しいふるさと認証制度の趣旨です。認証された方の活動は、様々な形で広報していく予定です。

平成25年度は51の団体と個人1名を認証しました。（町並保存会では4団体と連合会を認証）認証された団体の方からは、喜びの声をいただいております。

ぜひ、町並保存にご尽力されている皆さんの活動も認証したいと思いますので、高山市教育委員会 文化財課 まで推薦をお願いします。

高山市の伝建地区・景観保存区域の保存会 Vol.3

高山市景観町並保存連合会は、高山市市街地景観保存区域の12の景観保存会と、高山市重要伝統的建造物群保存地区の12の町並保存会で組織されています。ここでは各号保存会をご紹介します。



ほうめいたいぐみ

保存会名：豊明台組 町並保存会（地図3）

保存会長：吉島 忠男(よしじま ただお)さん

会員軒数：36軒

該当町内：大新町1丁目

主な目印：古い町並み・国重要文化財の日下部家、吉島家住宅・豊明台屋台蔵・秋葉社・江名子川沿い布引橋の松の木、石垣の石積

主な行事：花苗配布・防災訓練

会の実績：グループ自動火災報知システムの設置・消防機器作動点検・計画的な消火剤詰め替え・松の手入れ

ひとこと：当保存会は昭和35年に結成し、今年で35年の節目を迎えました。屋台組という、屋台を中心とした固い絆と信頼のもと、各組員が高い自覚と奉仕の精神を持って伝統文化を守り続けています。環境の保全・美化にも努めており、昨年度はフラワーコンクールで特別賞を受賞しました。



かみいちのまち かみ

保存会名：上一之町上 町並保存会（地図H）

保存会長：長瀬 公昭(ながせ きみあき)さん

会員数：57名

該当町内：上一之町（神楽台組、三番叟組）

主な目印：上一之町上通り・神楽台、三番叟屋台蔵・秋葉社

主な行事：山王祭（春の高山祭）・秋葉社例祭・花いっぱい運動（6～10月 年3回）・消防訓練（7月）

会の実績：神明町看板の設置、補修・各家軒下でのあじさい、アサガオのプランター栽培（6～10月）・消火訓練・防災マニュアルの作成（7月）・屋台蔵木堀の改修（12月）・街灯整備実験（LED研究）・店舗照明の改善・火災報知機の設置・消防設備の点検と整備・景観維持活動・マイマイガ駆除と対策（7月）など

ひとこと：当保存会は、山王祭の神楽台組と三番叟組の上一之町通り民家と商店で構成されています。このエリアには商店を中心とする発展会があり、保存会結成前はそちらの活動が中心でした。今後も連携して、先達の残してきた伝統や文化の保全・継承できるように取り組みたいと思います。